

インターンシップ実習成果報告書

情報学部 情報メディア学科 2年

202305 大堀蒼

実習先 株式会社 佐藤農園

実習期間： 2021年 9月12日～10月17日（5日間）

1. 実習目的

- ・共同で作業する際の適切なコミュニケーションについて知る。
- ・農業（1次産業）で、作物を出荷できるものにするまでに必要な作業について知る。
- ・販売（3次産業）で、商品に興味をもってもらうためにはどのようにしたらよいかについて知る。
- ・効率よく作業するための進め方について知る。

2. 実習内容

主に以下の4つの実習を行った。

実習1

藤井ファームにて、ぶどうを商品として出荷するためにぶどうについている袋を外して、中に入っている傷んだぶどうの粒を選別した。

実習2

ジャムが売れるように見た目が汚くならないように、注意してきれいに桃ジャムとキウイジャムにラベルを貼った。

実習3

有楽町交通会館でジャムの陳列と販売を行った。



図1 ジャムを販売したときの様子。

実習4

佐藤農園の畑を太陽光の発電所にする計画があることを聞いた。その準備段階でモアと呼ばれる草刈り機をしようとして、草刈りをした。また、木の枝などの除去を行った。



図2 草刈りに使用したモア

3. 実習日程

主に以下のスケジュールで研修に対応した。

第1日 9月12日 佐藤農園での実習

第2日 9月13日 佐藤農園での実習

第3日 9月14日 佐藤農園での実習

第4日 9月15日 藤井ファームでの実習

第5日 10月17日 有楽町交通会館での実習

4. 実習より得た成果

連携をとるために人数が多いときは、積極的にコミュニケーション取ることが大切なことを学んだ。

作物は商品として出荷するために、見た目を整えることが大切であることを学んだ。

商品が美味しそうに見えるようにレイアウトを整えてお客様に興味をもってもらうことが重要であることを学んだ。

目標を効率よく達成するために、作業前に事前準備することが大切であることを学んだ。

5. 大学での学習について

佐藤農園にインターンシップに行ったことによって、就職について考えるようになった。

私の興味のある業界の求人を調べて、企業の求めている人材や必要な資格を取りたい。

就職を考えることになったことで、普段の授業を受けるのに予習や復習をするのに計画的にしっかりと準備をして授業を受けるようにしたい。

就活の際の実績作りのためにも、3年の夏休みまでに一人でゲームを1つ計画的に制作したい。

6. インターンシップを終えての感想

佐藤社長に、資格の取得やプログラム多く書くことを勧められた。勧められたように、資格を調べ計画的に取得していきたい。また、学校の課題だけでなく個人的にプログラムや作品を作っていきたい。

7. 後輩に向けてのアドバイス

佐藤社長から目的と計画の話聞いて、インターンシップを終えて、自分がいかに何も考えずに生活してきたか、思い知らされた。自分の分野と関係がない感じられるところでも新たな発見があるので、インターンシップの参加を勧める。